

弾性設計用地震動S_dによる確認結果の概要

原子力安全・保安院からの「耐震設計審査指針の改訂に伴う既設原子力施設の耐震安全性評価における弾性設計用地震動S_dによる確認等について（平成21年2月20日付）」の指示に基づき、主要な建物に対する評価として、当社全プラントの原子炉建屋について、弾性設計用地震動S_d*による解析を行い、耐震壁の最大せん断ひずみは評価基準値を満足していることを確認した。

施設	確認部位	最大せん断ひずみ	評価基準値	結果
玄海1号機 原子炉建屋	耐震壁	0.20×10^{-3}	0.64×10^{-3}	良
玄海2号機 原子炉建屋		0.22×10^{-3}	0.67×10^{-3}	
玄海3号機 原子炉建屋		0.28×10^{-3}	1.00×10^{-3}	
玄海4号機 原子炉建屋		0.28×10^{-3}	1.00×10^{-3}	
川内1号機 原子炉建屋	耐震壁	0.17×10^{-3}	0.64×10^{-3}	良
川内2号機 原子炉建屋		0.17×10^{-3}	0.64×10^{-3}	

※ 弾性設計用地震動S_dは基準地震動S_sの0.6倍

以上